

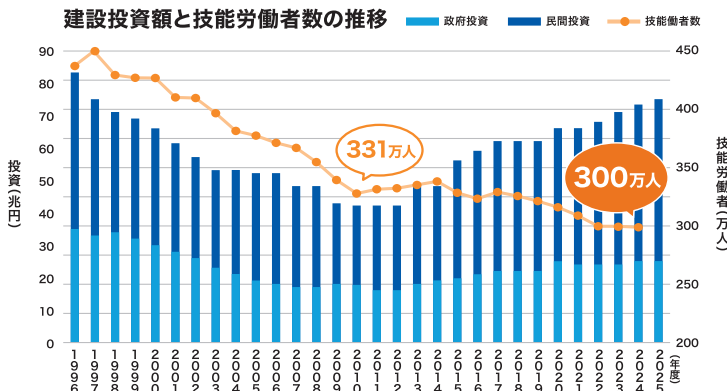


建設業界 加速する人手不足と高齢化

投資額は増加するも、 人手は減少傾向が続く



建設投資額は年々上昇傾向にあり、2025年度は75.6兆円と、2010年度の41.9兆円から1.8倍に達する見通しです。一方、建設技能労働者数は2024年度が300万人と、2010年度に比べ31万人減少しています。建設投資額の増加に対して、労働者数が減少する傾向が続いています。

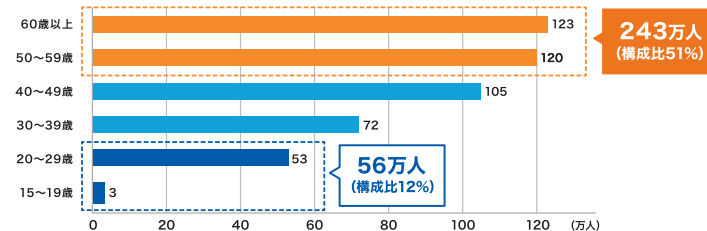


従業員の高齢化で、 さらなる人手不足に

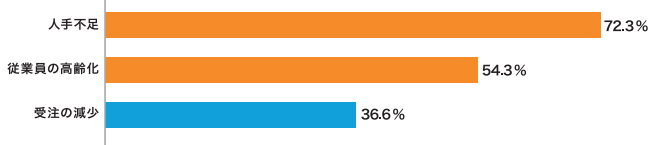


2024年現在の建設業従事者の年齢構成は50歳以上が半数を占め、今後20年間で約75万人が減少すると試算されています。建設業の経営上の課題として挙げられる人手不足や従業員の高齢化の問題は、今後ますます深刻化する可能性があります。

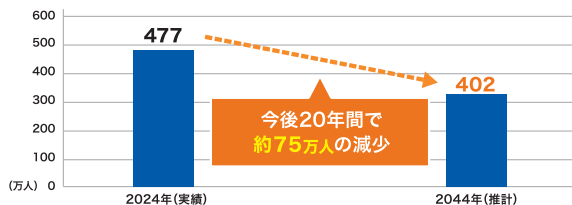
建設業従事者の年齢構成 (2024年 合計477万人)



建設業の経営上の問題点トップ3



建設業従事者数の将来推計 (財務省による機械的試算)



図表は「令和7年度地方財政計画」財務省 (https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/report/zaiseia20251202/05.pdf) の「資料II-6-4」「資料II-6-5」「資料II-6-6」を元に作成

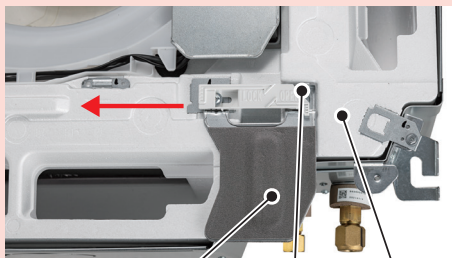
三菱電機では 省人・省力化のため製品の施工性を改善しています！

スリムエアコンの場合

現地配線用サービスパネルの 省施工化

樹脂部品をスライドし回転させる構造で、ネジ緩め作業が不要に。
工具レス化で据付性を向上させています。

① 樹脂部品をスライドさせる



現地配線用サービスパネル 樹脂部品 ドレンパン

② 現地配線用サービスパネルを回転させる

